

病理では良性は D131-2,D371、悪性はそれ以外とした。

ix 手術は5項目収集しており、組み合わせがあった場合、難易度の順に優先選択し、カテゴリー化している。診療報酬点数コード上のコードから、中心静脈ポート挿入K618\$, ブジー術K522\$, 姑息手術K636,K654,K662,K664、内視鏡下粘膜切除K653\$, 胃部分切除K655\$, 胃全摘K657\$, 胃部分切除+胆摘K655\$+K671\$またはK672またはK672-2またはK681またはKK682\$, 胃全摘+胆摘 K657\$+K671\$またはK672またはK672-2またはK681またはKK682\$, 胃部分切除+脾摘K655\$+K711、胃全摘+脾摘K657\$+K711、胃部分切除+肝合切K655\$+K695\$, 胃全摘+肝合切K657\$+K695\$, 胃切除+脾臓合切K655\$またはK657\$+K702\$またはK703\$とした。気管切開は別途K386として収集した。手術がない場合や、これ以外の手術は1つに集約した。

*診療報酬点数コード上の K386

xi C(Comorbidity),C(Complication)と称する。更に Complication を併発症（入院後手術、処置と直接因果関係のない疾患）と続発症（入院後行われた手術・処置に直接因果関係のあるもの）とに区別することがある。今回併発症は深部静脈血栓症や肺梗塞としている。また手術処置関連続発症は各 MDC 毎に、T81\$-87\$から妥当なものを拾っている。

xii 今回副傷病として、MD 指標,Charlson 指標を活用したのは、現行定義テーブルの副傷病が MDC 間（DPC 間ですら）整合性がなく、未整理のままであり、これを整理する目的もかねて前述副傷病をリストアップし、これに深部静脈血栓、肺塞栓を追加した。肝障害のところにも妥当と思われる ICD10 コードを MD 指標に追加している。悪性疾患の DPC においては、悪性新生物の MD 指標はカウントしなかった。

xiii ICD10 コードでは E102-8,E112-8,E122-8,E132-8,E142-8 と MD 指標では定義している。

xiv E100,E110,E120,E130,E140,E101,E111,E121,E131,E141,E109,E119,E129,E139,E149

xv F00-F021,F03\$,G30\$-G311

xvi G81\$,G041,G820,822-3

xvii J40,J41\$-47\$,J60-1,J62\$,J63-5,J66\$,J67\$, J961,J969

xviii I70\$,I71\$,I72\$,I73,I771,R02

xix N01\$,N03\$,N05\$,N07\$,N19,N25\$

xx N18\$

xxi M05-M06,M08-M09,M32\$-M34\$,M35\$

xxii K700,K701,K709,K710,K713-716,K718,K719,,K721,K729,K73\$,K748,K760-761,K768-769

xxiii I850,I859K702-704,K711,K712,K717,K720,K740-746,K762-767

xxiv C00\$-C96\$,D890,Z85\$

xxv I21\$,I22\$,I252

xxvi I60\$-69\$,G45\$,G46\$

xxvii K25\$-28\$

xxviii A\$\$\$,B\$\$\$

xxix N17\$

xxx J960

xxxi I50\$

xxxii B150,B160,B162,B190,K720

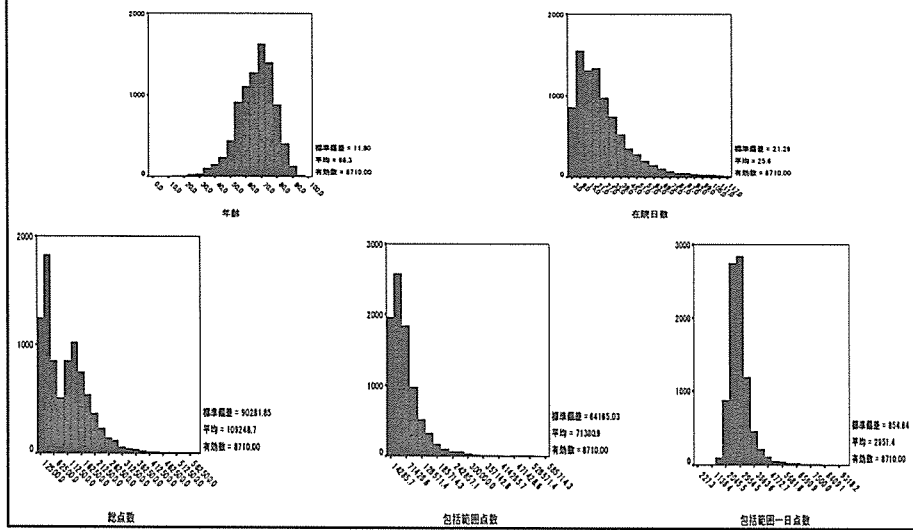
xxxiii D65

xxxiv I260,I269,I80\$

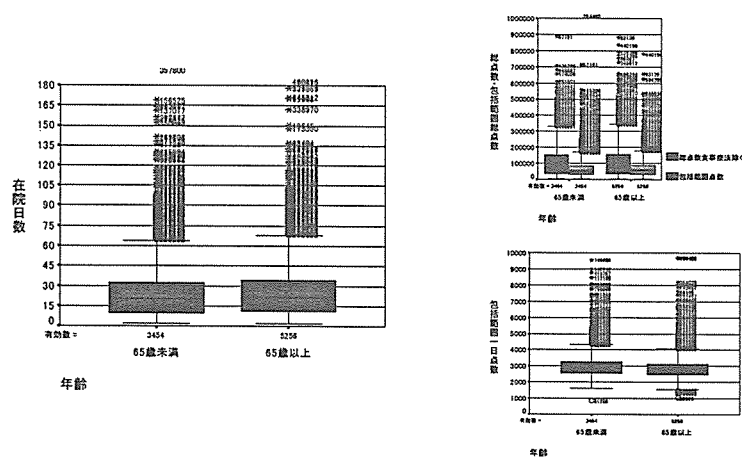
xxxv T81\$-87\$を手術関連続発症とした。創感染、出血、膿瘍形成、人工物挿入合併症などが該当する。

xxxvi 対照は年齢では 65 歳未満群、女性、地域では関東、私立とした。部位は部位不明群、病理は良性、手術などでは『手術なし他群』を対照とした。他因子は無群を対照とした。説明因子が 10 症例以下の場合は、因子投入しなかった。

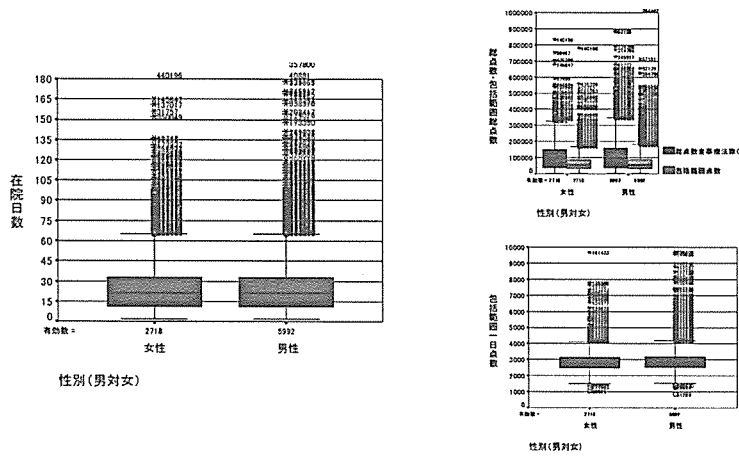
図A群



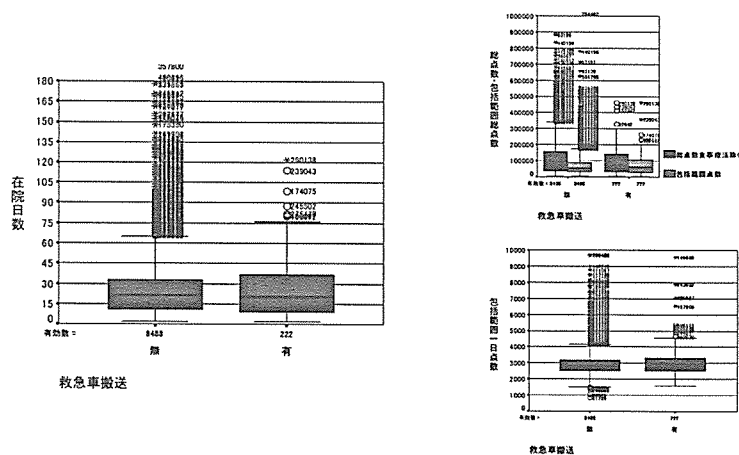
図B群(年齢)



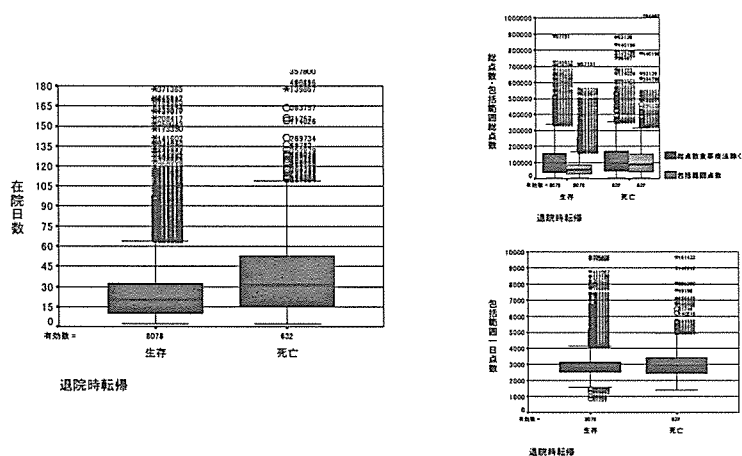
図B群(性別)



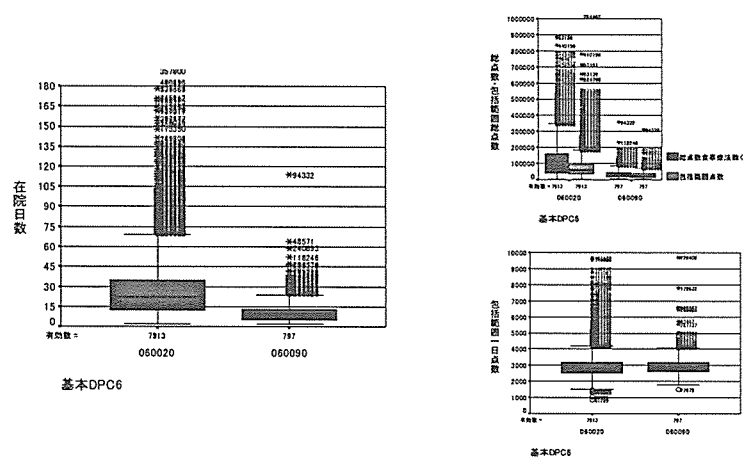
図B群(救急車搬送)



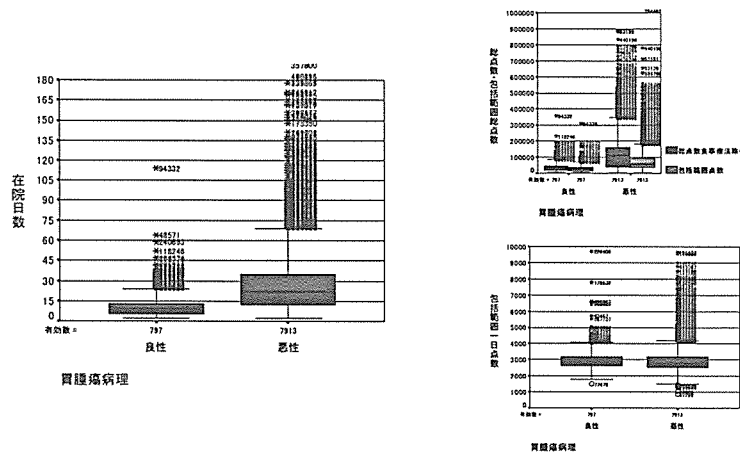
図B群(退院時転帰)



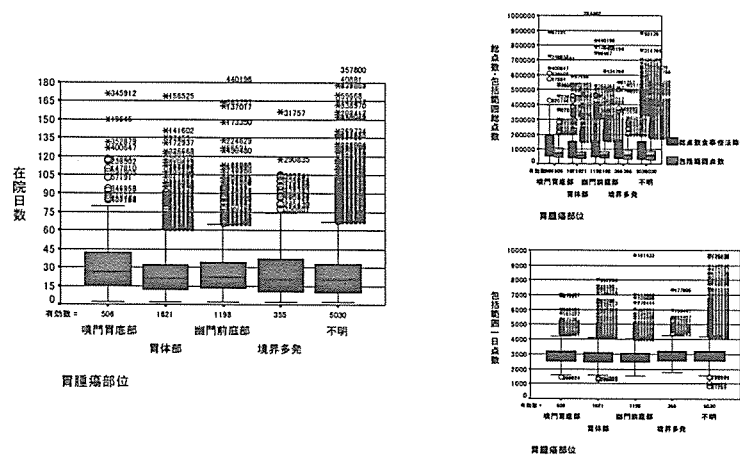
図B群(基本DPC別)



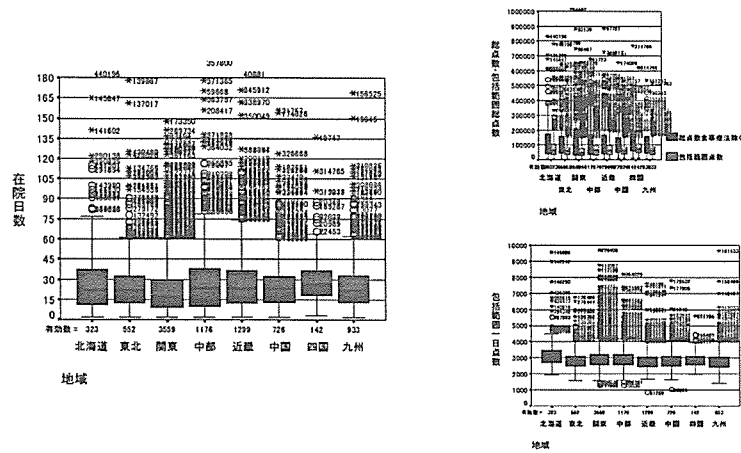
図B群(病理)



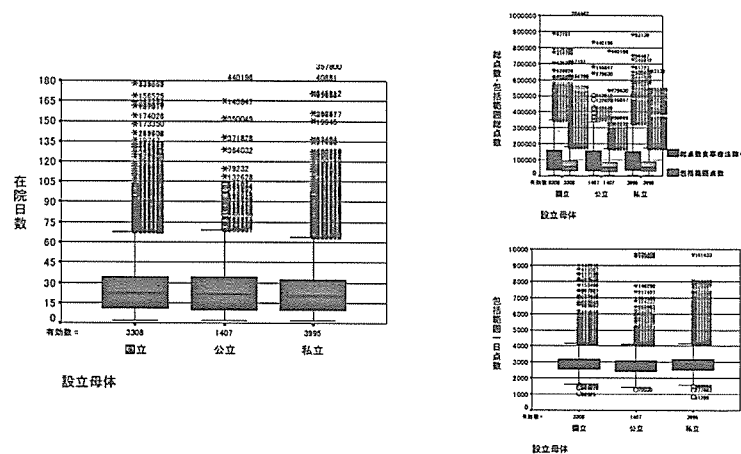
図B群(部位)



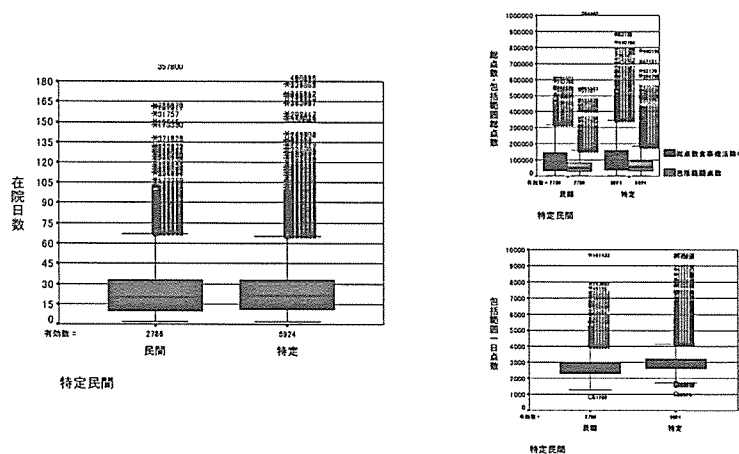
図B群(地域施設)



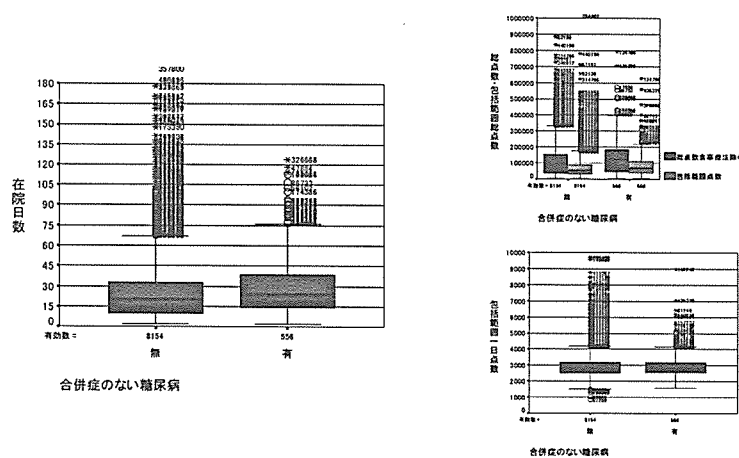
図B群(施設母体)



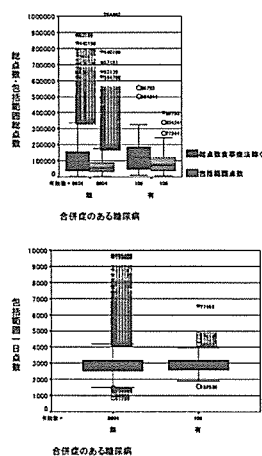
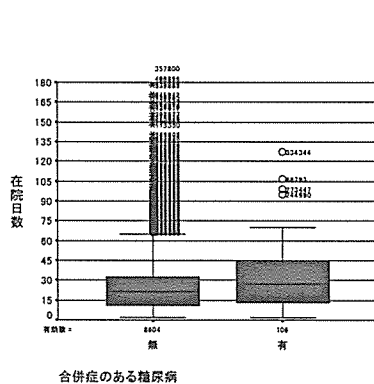
図B群(施設機能)



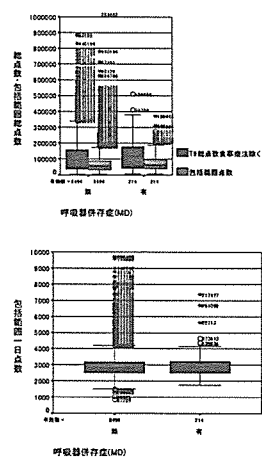
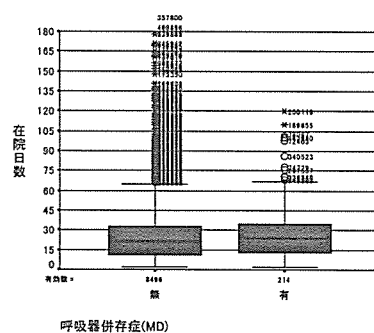
図B群(合併症のない糖尿病)



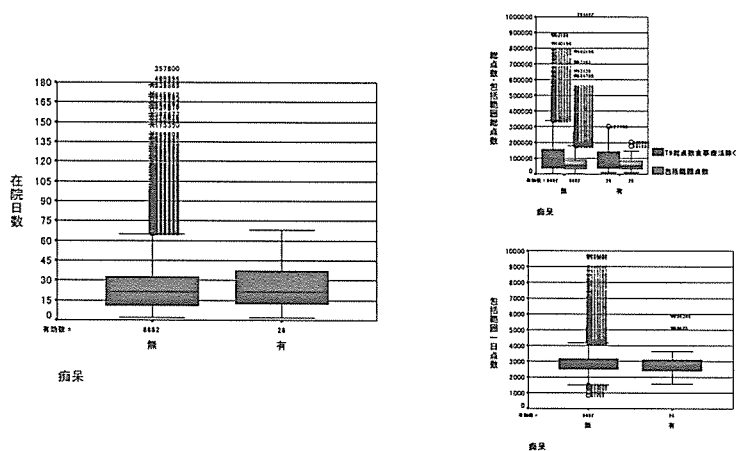
図B群(合併症のある糖尿病)



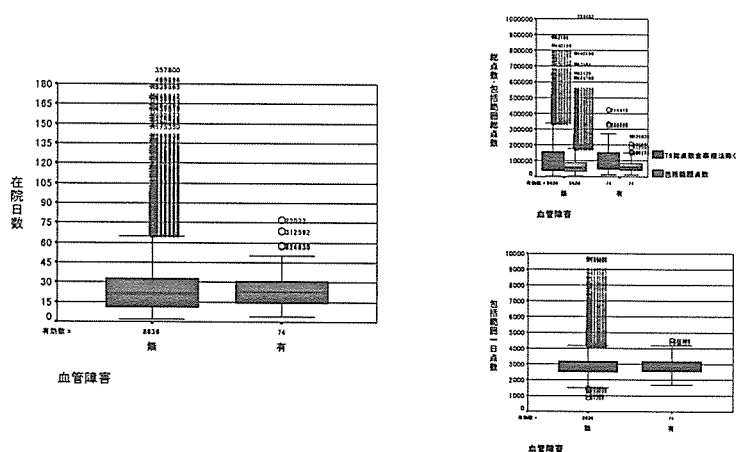
図B群(呼吸器併存症)



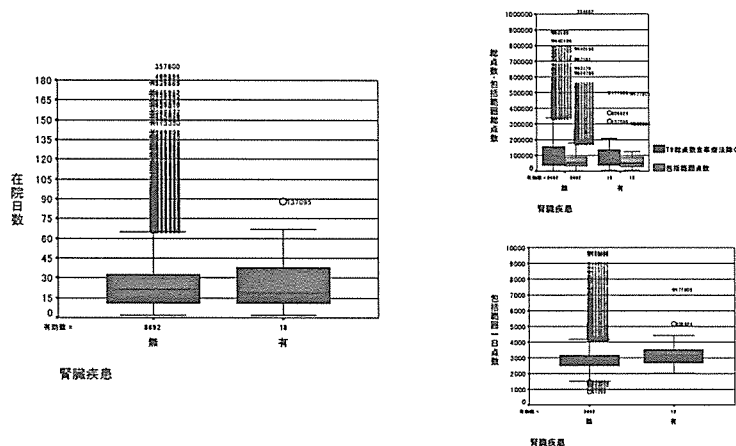
図B群(痴呆)



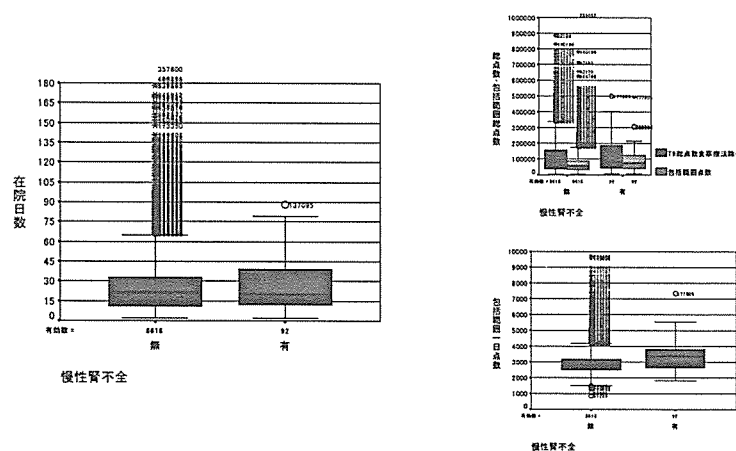
図B群(血管障害)



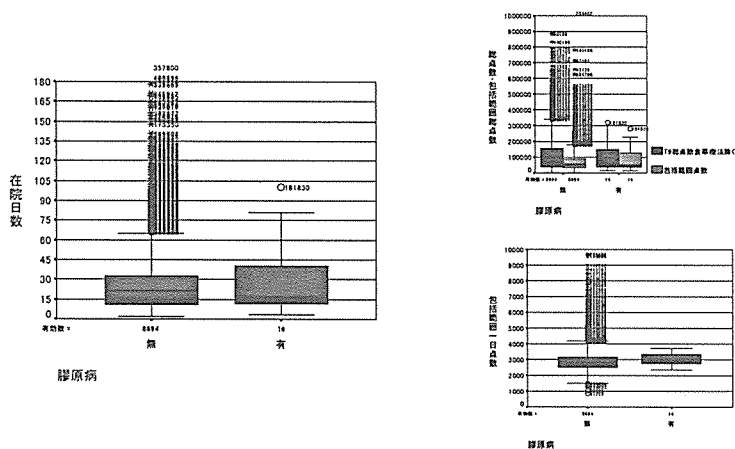
図B群(腎臓疾患)



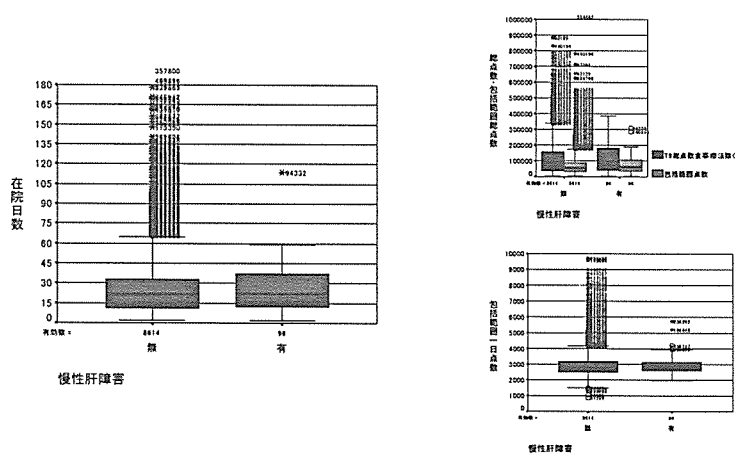
図B群(慢性腎不全)



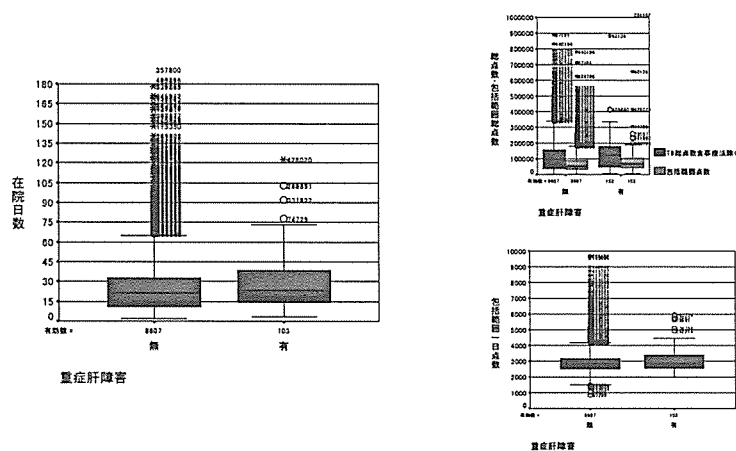
図B群(膠原病)



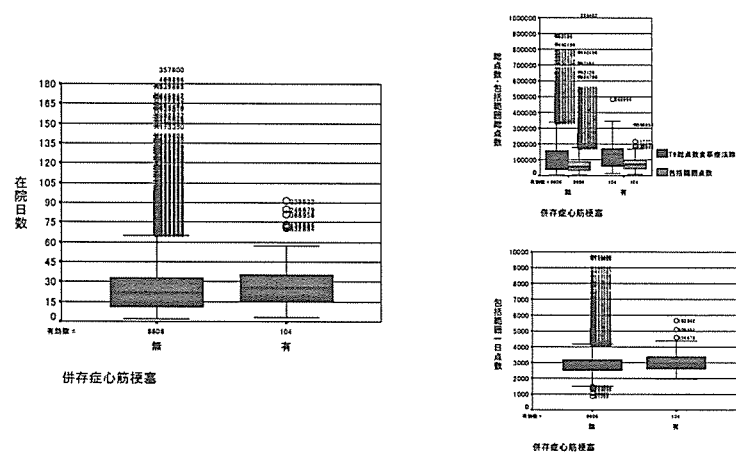
図B群(慢性肝障害)



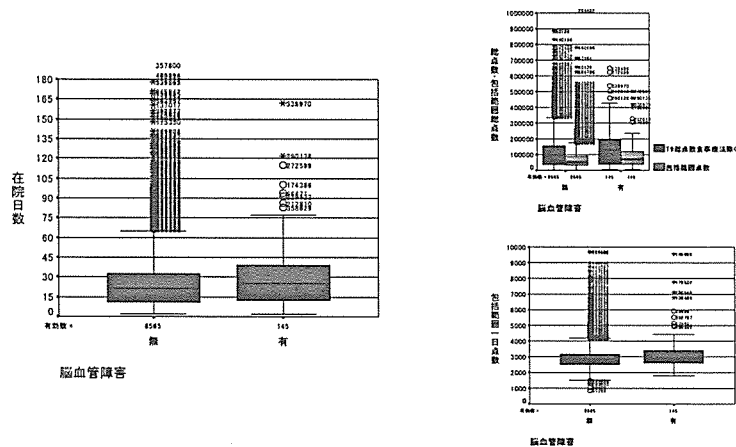
図B群(重症肝障害)



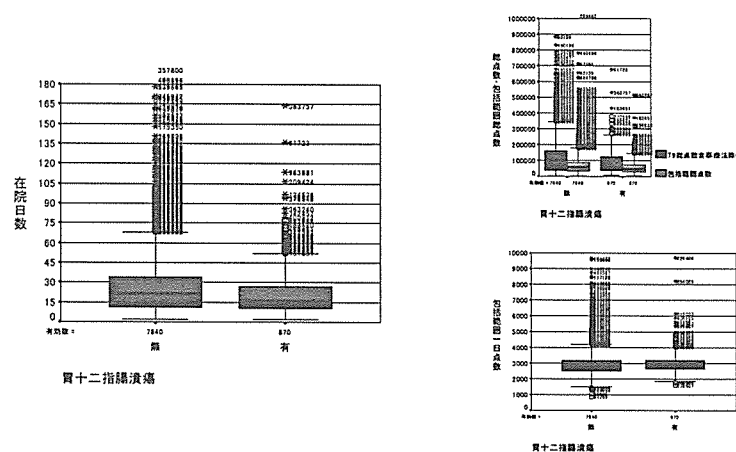
図B群(併存急性心筋梗塞)



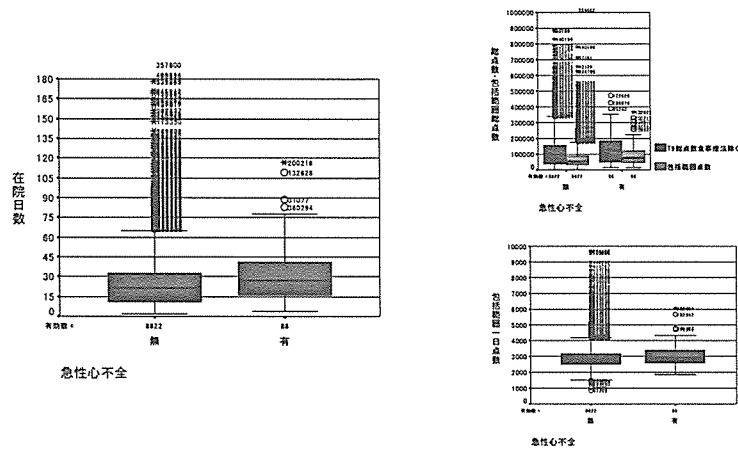
図B群(併存脳血管障害)



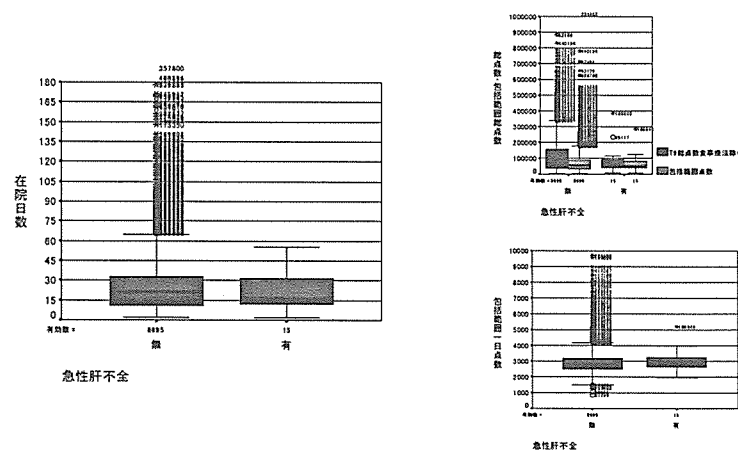
図B群(併存胃十二指腸潰瘍)



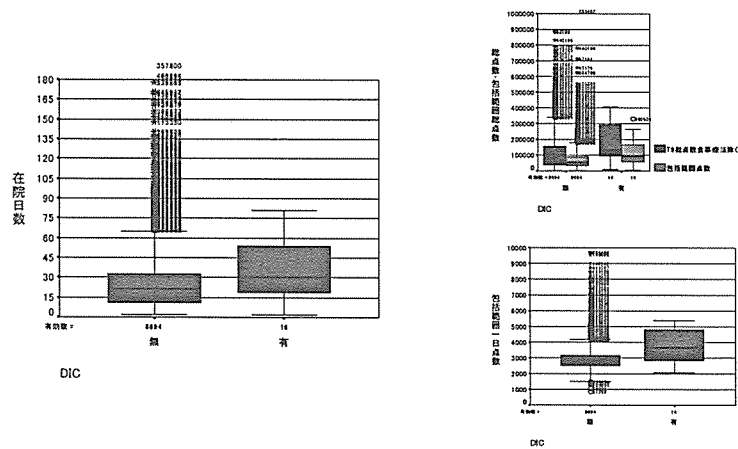
図B群(併存急性心不全)



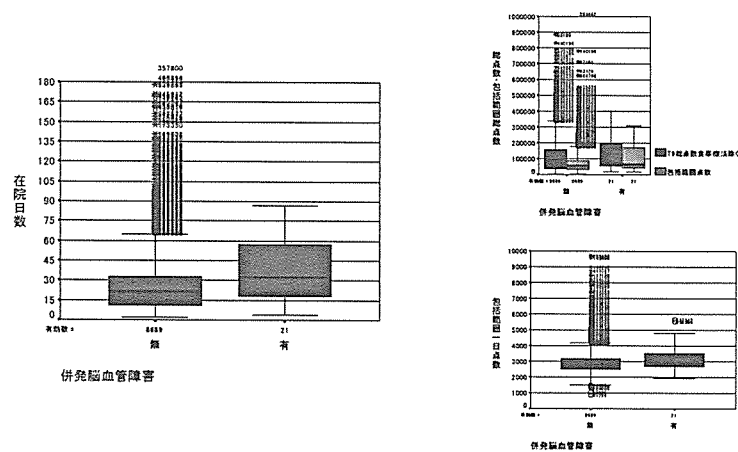
図B群(併存急性肝不全)



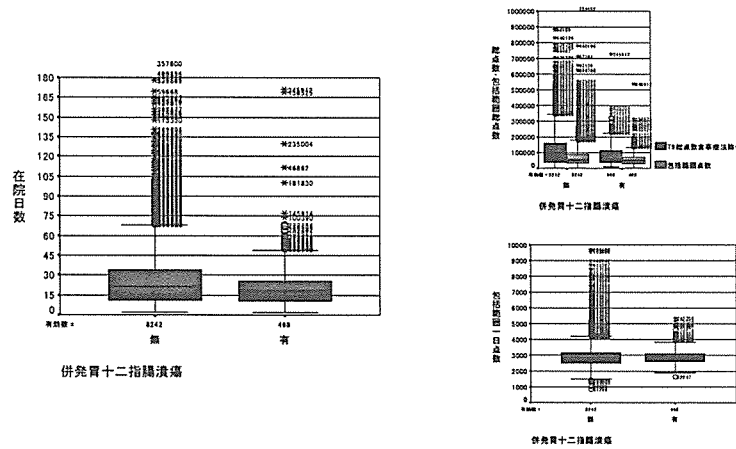
図B群(併存DIC)



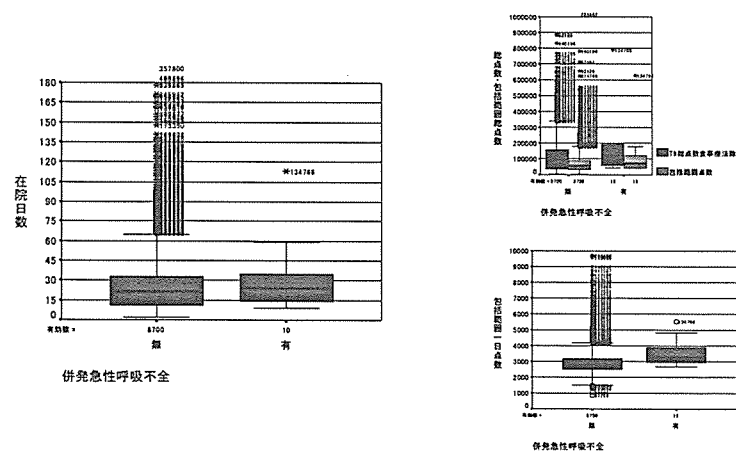
図B群(併発脳血管障害)



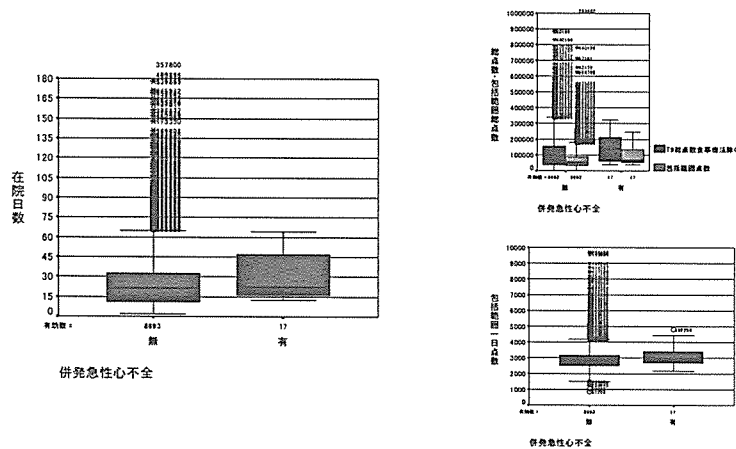
図B群(併発胃十二指腸潰瘍)



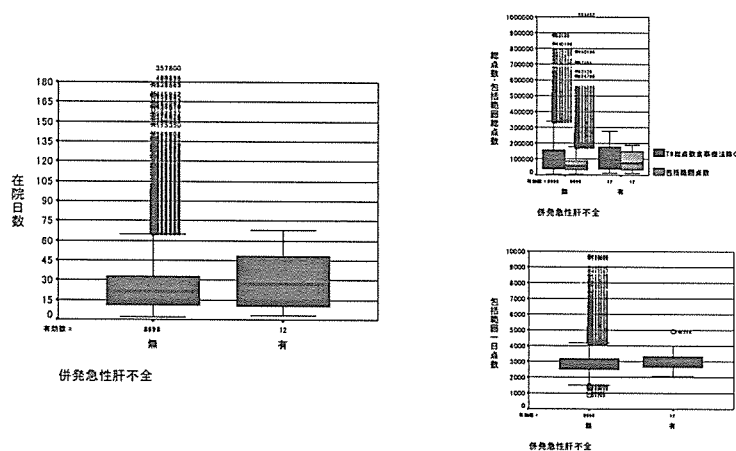
図B群(併発急性呼吸不全)



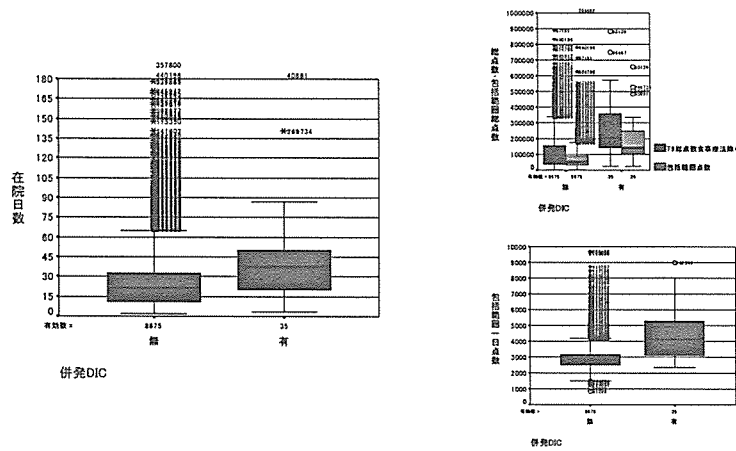
図B群(併発急性心不全)



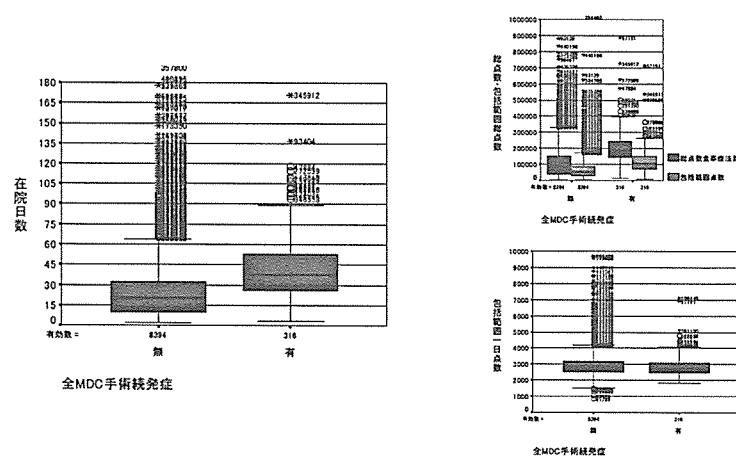
図B群(併発急性肝不全)



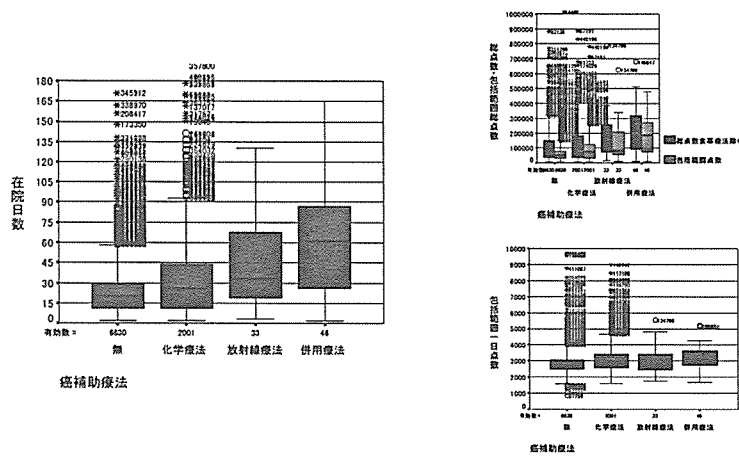
図B群(併発DIC)



図B群(手術関連続発症)



図B群(癌補助療法)



図B群(手術)

